

日時：令和7年2月5日（水）

午後3時00分～5時00分

会場：小山高等学校 第一応接室

1 開会（校長挨拶）

- ・北駿地区地域協議会の情報提供 様々な御支援・お知恵をお借りしていきたい

2 学校の近況報告

- (1) 全日制 新聞記事（クロスカントリー、小山町インターンシップ等）、進路状況
- (2) 定時制 授業の取り組み、進路指導

3 学校自己評価についての説明

- ・各成果目標に対する達成状況、自己評価、成果と課題について説明

4 学校関係者評価

【全日制】

- ・関係者評価としてA/Bをつけることが難しい。数値目標があれば評価しやすい。
- ・生徒のアンケート結果が良いにも関わらず、教員評価が低いことでBになっている項目は、生徒の満足度が高いことを踏まえればA評価で良いのではないか。
- ・生徒と教員の評価が異なる項目は、設問や評価方法の改善が必要。
- ・(学校側) 教員の「主体的な取り組み」評価が下がっている点について、家庭学習への取り組みや学力定着について、教員が生徒に期待する水準が高い可能性があることを認識している。生徒の家庭での反復学習による定着が課題であると考えている。

【定時制】

- ・事件事故0件、いじめ・非行0件は素晴らしい。
- ・進路決定率が概ね100%ならAで良いのではないか。

5 学校経営についての意見交換

- ・中北駿地区公立高校再編のための地域協議会の報道は非常にがっかり。学校側の頑張りや募集定員超過の実績が評価されていない。特に小山高校は進学希望者が多く、定員減は困る中学生が多い。
- ・先生方と生徒のモチベーションが心配。士気を下げないよう頑張ってもらいたい。

6 閉会